

2018年12月10日

# 介護椅子使用感の感性評価

関西学院大学  
感性価値創造研究センター／理工学部  
長田典子研究室

# 調査概要

- 介護椅子を使用する場面の感情を適切に評価する手法を構築した上で、3つの介護椅子を評価する。以下の手順で実施する。

調査1 発話思考法と評価グリッドによる感情語の収集

調査2 感情語の快/不快・覚醒/沈静評定

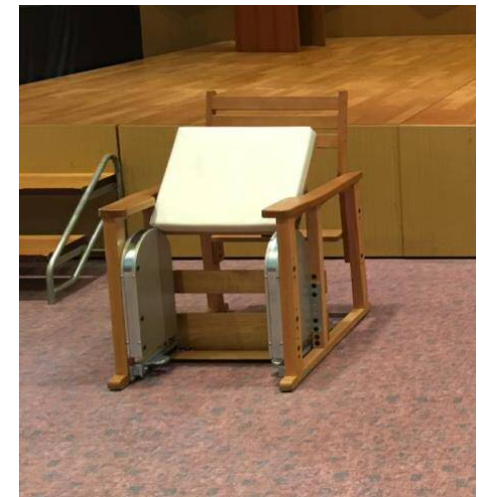
調査3 3つの介護椅子の評価

## 評価対象

椅子A: アイケアラボ社製・座面アシストあり (画像)

椅子B: 市販品・座面アシストあり

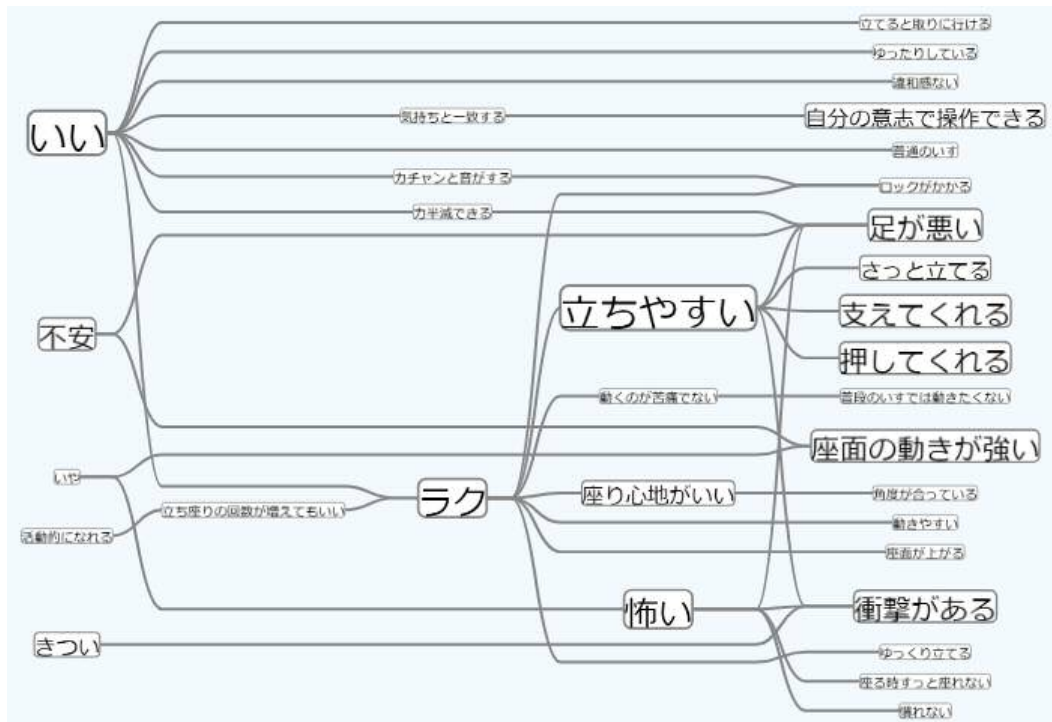
椅子C: 市販品・座面アシストなし



# 調査1 発話思考法と評価グリッド法による感情語の収集

- 比較対象（刺激）： 椅子A, B, C
- 実験参加者： 15名（男性5名、女性10名、平均年齢82.3歳）
- 実施内容： 発話思考法と評価グリッド法にて、椅子使用時の感情を抽出した。

## ■介護椅子を使う場面の価値構造



## ■抽出ワード（30語）

### ーポジティブ（17語）

安全な、怖くない、良い、簡単な、楽な、必要な、自然な、違和感のない、自分に合っている、便利な、好きな、活動的になれる、使える、座り心地がいい、立ちやすい、座りやすい、背にもたれやすい

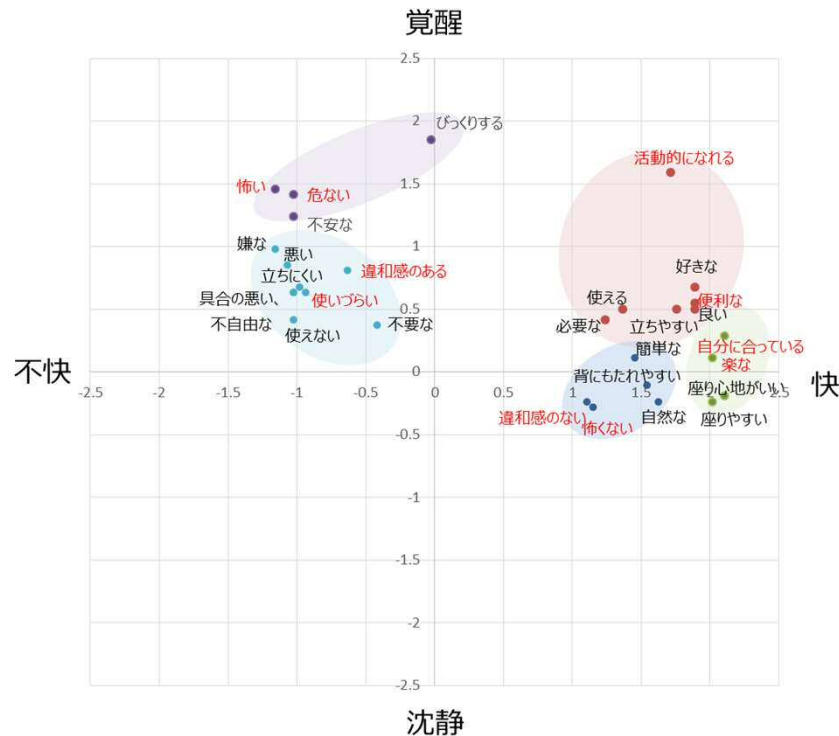
### ーネガティブ（13語）

危ない、怖い、びっくりする、不安な、悪い、具合の悪い、不要な、不自由な、違和感のある、嫌な、使いづらい、使えない、立ちにくい

# 調査2 感情語の快/不快・覚醒/沈静評定

- 実験参加者： 23名（男性13名、女性10名、平均年齢37.8歳）
- 実施内容： 調査1で抽出した30語に対し、「快/不快」、「覚醒/沈静」をどの程度感じるか5段階評定を行った。

## ■ ワードの性質と代表語



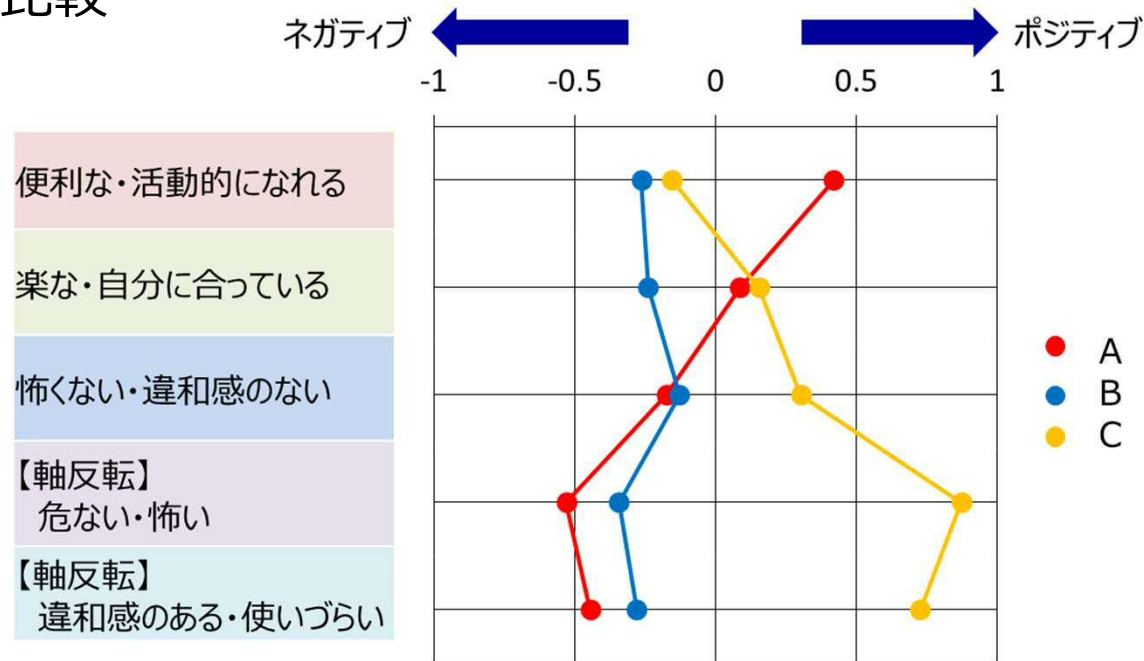
快・覚醒	高快・覚醒/沈静	快・覚醒/沈静	不快・高覚醒	不快・覚醒
良い	楽な	怖くない	危ない	悪い
必要な	自分に合っている	簡単な	怖い	具合の悪い
便利な	座り心地がいい	自然な	びっくりする	不要な
好きな	座りやすい	違和感のない	不安な	不自由な
活動的になれる		背にもたれやすい		違和感のある
使える				嫌な
立ちやすい				使いづらい
				使えない
				立ちにくい

- クラスタ分析にて、5クラスターに分類
- 網羅性と代表性のある代表語を選定

# 調査3 3つの介護椅子の評価

- 比較対象（刺激）： 椅子A, B, C
- 実験参加者： 11名（男性5名、女性6名、平均年齢81.5歳）
- 実施内容： 調査2で選定した代表語について、一対比較を行った。

## ■心理尺度比較



- Aは、「便利な・活動的になれる」が他の椅子と比べて著しく高い結果であり、「楽な・自分に合っている」も通常の椅子Cと同程度であることから、今後の改良や使用者の慣れにより、活用される可能性を秘めた椅子と考えられる。ただし、「危ない・怖い」、「違和感のある・使いづらい」が高い点で、改良の余地がある。